

橋小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎・基本の徹底を図り、自ら学ぶ力を身に付けさせるための手立ての工夫
- 深い学びをめざす、聴いて、考えて、つなげる授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 桑村 美香	委員 校長 谷口 睦子 教頭 佐々木 啓介 教務主任 山本 栄 研修主任・特別支援教育コーディネーター 桑村美香
------------------	---

校長

谷口 睦子

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていたり、与えられた課題にもまじめに取り組めたりできる児童が多い。 ●語彙が少なく、文章を読み取る力や要点をまとめて書く力に課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けている。 ・身に付けた知識や技能を、他の学習や生活の場面において活用することができる。 ・語彙力を高め、日常生活で自分の考えや思いを分かりやすく話したり書いたりできる。	・タブレット等のICT機器についての共通理解を図り、授業やドリルタイムで効果的に活用する。 ・身に付けた知識等を用いて課題を解決する学習活動の場面を増やす。 ・視写や読書・新聞を読む活動を継続し、語彙を増やしたり文章の書き方を身に付けたりさせる。			

【各校の取組状況の把握について】

授業研究会や研修会の実施、教師自身の振り返りアンケート等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○話し合う活動が楽しいと感じる児童が増え、ペアやグループの話し合いでは、自分の考えを発言できるようになってきた。 ●自分の考えを分かりやすく表現したり、友達の考えを受けて自分の考えを言ったりすることが苦手である。	・話し手の意図をとらえながら聴くことができる。 ・様々な場面で、自分の考えを書いたり話したりして表現することができる。 ・他者と意見を交流しながら、自分や全体の考えを深めたり広げたりできる。	・話し合いのモデルを提示し、共感したり、友達の発言に意見を返したりして話し合いができるようにする。 ・ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。 ・個に応じた手だてや対応を工夫する。 ・発問や指示の精選、思考ツールの活用などにより児童の考えが深まるようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対しては真面目に取り組む、家庭学習もできる児童が多い。 ●学習に対する取り組みが受動的で、自分のめあてを見つけたり自己決定したりすることに課題がある。	・課題解決を通して分かる楽しさやできる楽しさを体感し、自分なりの充実感や達成感を味わっている。 ・自分の目標をもって家庭学習や家庭読書に取り組むことができる。	・児童の疑問やつぶやきを取り入れて学習のめあてを提示する。振り返りの視点を示し、児童の学びの自覚化を図る。 ・家庭学習の手引きや自主勉強のおすすめメニューを活用し、児童が自己の課題に応じて主体的に学習に取り組めるヒントを提示する。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

